

【平成24年度】

～「水が織りなす安曇野今昔物語」講座～

～第1回～

人物編「江戸から明治時代」



貞享義民社

とき：平成24年7月11日（水）午後7時から

場所：穂高交流学習センター「みらい」

講師：中島博昭氏

講師プロフィール

中島 博昭 氏 (なかじま ひろあき)

1934年 安曇野市穂高生まれ。

現在、地域史研究家、「安曇野文芸」編集長、安曇野塾運営委員。

長年、松本深志高校など県内の高校社会科教師を務めるかたわら、郷土の優れた人物や文化財の掘りおこしと顕彰、地域づくりに尽力。

前長野県短期大学講師。

著書 『鋤鍬の民権—松沢求策の生涯』

『がいどぶっく 安曇野の里 穂高ものがたり』

『安曇野に八面大王は駆ける』

『探訪・安曇野—その旅と歴史ロマン』

『唄え、安曇節』

『常念山麓』

『犀川川筋ものがたり』

編著 『あゝ祖国よ恋人よ—きけわたつみのこえ上原良司』

ほか。

「水が織りなす安曇野今昔物語」講座 人物編 ' 12. 7. 11

★はじめに ~~水と優れた先人~~たちから安曇野とはどんな地域か学ぶ。

学ぶ要点 バラバラでなく、つなげて風土を心に刻む。

- ①時代 (タテ) 江戸時代 保高組 (穂高町) 成相組 (豊科町・島立)
長尾組 (三郷村・堀金村) 川手組 (明科町) 池田組 (明科町)
- ②地形・風土 (水) (ヨコ) 犀川地域共同体 上流…山峡小河 (畑作)
中流…扇状地中河 (隆起扇状地・ぶどうと高原野菜—~~複合扇状地~~米作)
下流…山峡大河 (おやき・そば) 安曇野
- ③人脈
- ④文化財 (生家、墓、記念碑、展示館など)

★江戸から明治時代

多田加助 (1639-86 三郷) 中萱村庄屋

業績 年貢減免を訴え松本平の百姓一揆を指導、一揆は失敗するが、のち義民、民権の先駆者、安曇野の魂として尊敬され継承されてきている。

内容 ①三斗挽き→二斗五升挽き (「高島、高遠・東西五千石領並みに」松本藩分断) ②代表越訴型から惣百姓一揆型へ 強訴 仁科道を通しての連帯
松本へ松本平農民1万人結集 貞享(3年)一揆

文化財 貞享義民社 (加助邸宅跡、墓)、貞享義民館、小川大系作の胸像レリーフ (中萱駅前など)

藤森善兵衛 (?-1817・文化14 豊科) 成相組大庄屋

業績 ①柏原原入会地をめぐる柏原村 (等々力氏) との長年の対立を克服、拾ヶ村組合堰 (拾ヶ堰) 開削に貢献 (米作扇状地・安曇野の出発 1816-文化13)
②十返舎一九を安曇に招き、『膝栗毛』を書かせ (同年)、安曇野を全国に知らしめる。西山麓の札所参り客増加。観光開発の先駆けとなる。引湯事業の開始

内容 ①柏原原入会地 (刈敷-農耕肥料、牛馬の秣-飼料) 烏川扇状地扇央の最も広い土地 保高組・長尾組・成相組の入会地 柏原村 (等々力氏) ←→成相新田村 (藤森氏) 米作 田圃 観光

②善兵衛 狂歌の選者、文号 新田園長丸

松本の高見甚左衛門と共に別々に一九を招く活動 元禄2の与兵衛丁石 —
善光寺街道か栗尾道か 一九善兵衛に従う

文化11年8月11日 一九善兵衛宅宿泊、栗尾道を通り満願寺へ、取材。

文化財 藤森家 (一九も見たであろう庭の木々あり)、元禄2の与兵衛丁石

『膝栗毛』原本

藤森寿平（1835-1905 豊科） 教師・日本画家（桂谷）・県会議員

業績 ①近代教育の先駆け

②長野県国会開設運動の母体である武居用拙塾開設

③加助を「民権の先駆」と見直し、国会開設運動の推進力とした。

内容 ①学校設置建白書（明治3）-法蔵寺に実践社（4）・高遠の藩校、進徳館から高橋白山招聘-永山県令（5.7）・県学と郷学 高遠の教師-国の学制（5.8）

②武居用拙塾（8~17）実践社の後身 政治塾→民権塾 松沢求策、今井五介、降幡元太郎など教え子

③貞享義烈碑 寿平企画、用拙撰文（13）「民権の宗」-加助二百年祭（実施されず）と国会開設運動に併せて。しかし建碑は死後の41年、晩年努力。貞享義民社境内

文化財 法蔵寺、貞享義烈碑、寿平頌徳碑（新田公民館前）、胸像（きぼう入口）

松沢求策（1855-87 穂高） 自由民権家 中農出身

業績 ①長野県国会開設運動（県民21千余名）の代表として、また全国の運動の先頭に立って国会と政党の結成に尽力した。

②とくに請願権の確立に努力、大日本帝国憲法に請願権を規定させ、請願規則もでき戦前の運動に役立つ。

③「民権鑑嘉助の面影」という演劇脚本創作・公演による民衆啓蒙

④東洋自由新聞事件により失脚

内容 ①民権家へのきっかけ 捨ヶ堰々守の体験（明治8、20歳）→武居塾入塾

水を農民の米の生産から見詰め、制御 - ムラムラから人足あつめ監督

夜は維新事業（学校・役場建設資金徴収など）に従事

社会・国家の仕組みの改革への意欲

文化財 生家、墓、胸像モニュメント

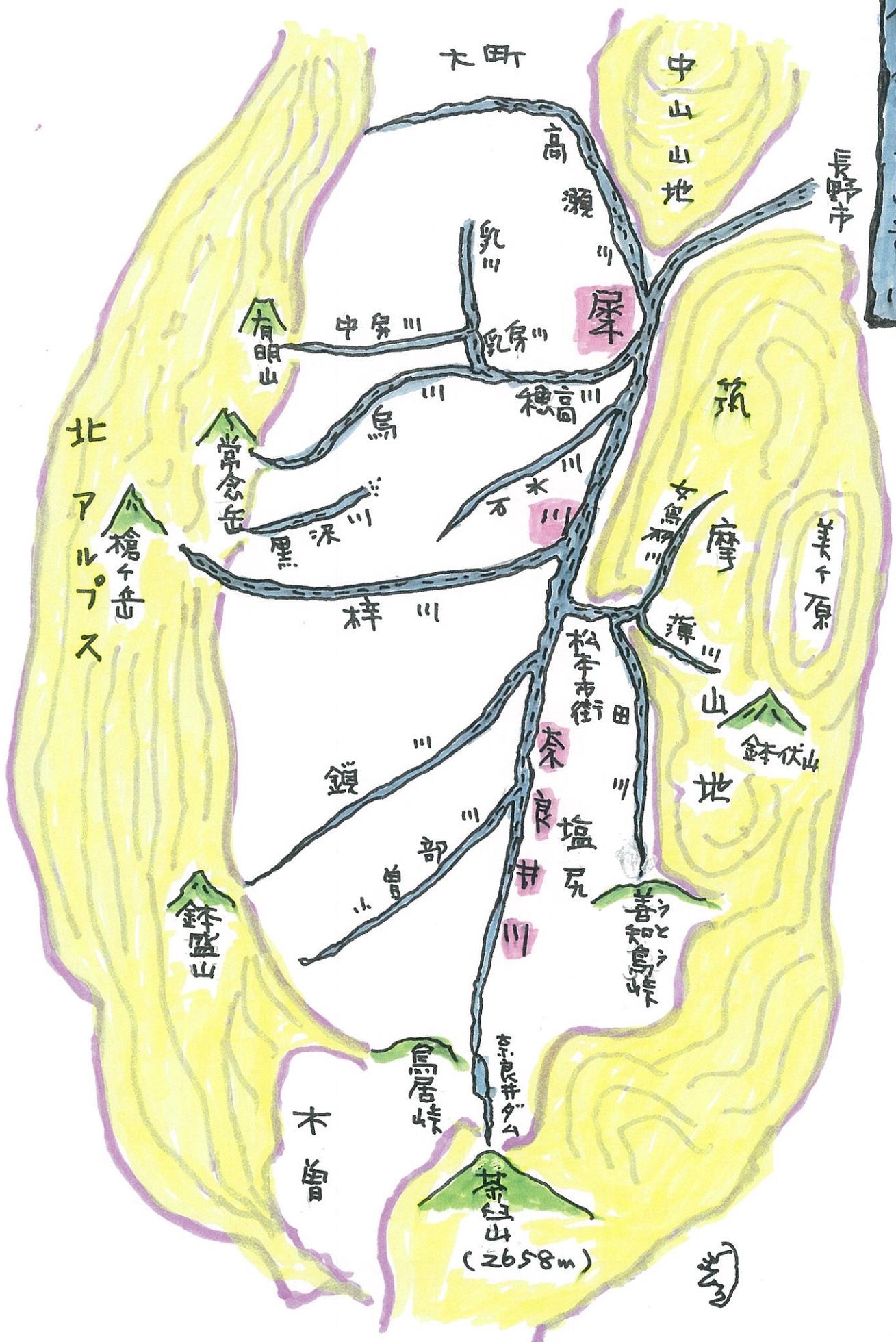
倉科多策（1865-1939 明科） 旅館経営

業績 数々の明科の発展事業に尽力 例えば明治35年敷設の篠ノ井線の明科駅 国営製材所の招致、県水産指導所、白馬自動車の誘致。

内容 松本盆地で最低の520メートルで三川合流地帯を利用して、西山の材木を河川に流し運搬、明科で集めて製材所経営。宮下太吉の大逆事件。

「無から有を生み出す闘志をもたねばならぬ」若者への説教

犀川(奈良井川)まわりの地図



長野市

中山山地

大町

高瀬川

犀川

乳川

乳房川

中房川

有明山

穂高川

鳥川

常念岳

黒沢川

石水川

女倉川

摩

美ヶ原

北アルプス

槍ヶ岳

梓川

松本市街

薄川

鉢伏山

鎮

奈良

塩尻

部

善知鳥

鉢盛山

木曾

高尾峠

鉢山 (2658m)



安曇野市



Handwritten signature or mark.